

豊小レポート13 くじら

4月13日。給食コーナーに貼ってあります。

「海と空はつながっている」と書いてあります。

海の生き物を上手に食べると、海を守れるようです。

少年写真新聞 Juniors' Visual Journal
https://www.schoolpress.co.jp/

くじら ニュース

令和4年3月18日発行
一般財団法人日本鯨類研究所
一般社団法人大日本水産会

海と空と陸はつながっている

海の生き物を上手に食べれば豊かな海を守ることにつながります

地球に命がある理由は太陽にあります。海の生き物は、どれも私たちににとって貴重な資源で、海の生態系は食物連鎖のバランスを保つことで守られます。海のプランクトンは光合成をして増え、それを食べて成長する小魚からクジラまで、太陽がある限り、自然に増えますが、どの生物も減らないよう、捕りすぎないことを種類ごとに確認し続ける必要があります。さまざまな調査、研究方法があり、例えば目視調査では、目で見て数えることを繰り返すことで、見えない海の中のクジラの数を調査します。

食物連鎖の頂点にいるクジラは、魚やイカ、オキアミなどを食べ、種類によって食べるエサも違います。

日本鯨類研究所は海の生態系を守るために、貴重な水産資源であるクジラの生態と環境を調査しています。

日本近海ではクジラの数が減らないように調査も行われ、産卵が産肉が生産され、皆さんの食卓に届きます。

くじらを知ると、食がもっと楽しくなる。くじら総合情報サイト「くじらタウン」 <https://www.kujira-town.jp>

よーく読んでみると、その理由がわかります。不思議ですね。